

# 未来ひだか

みらくる

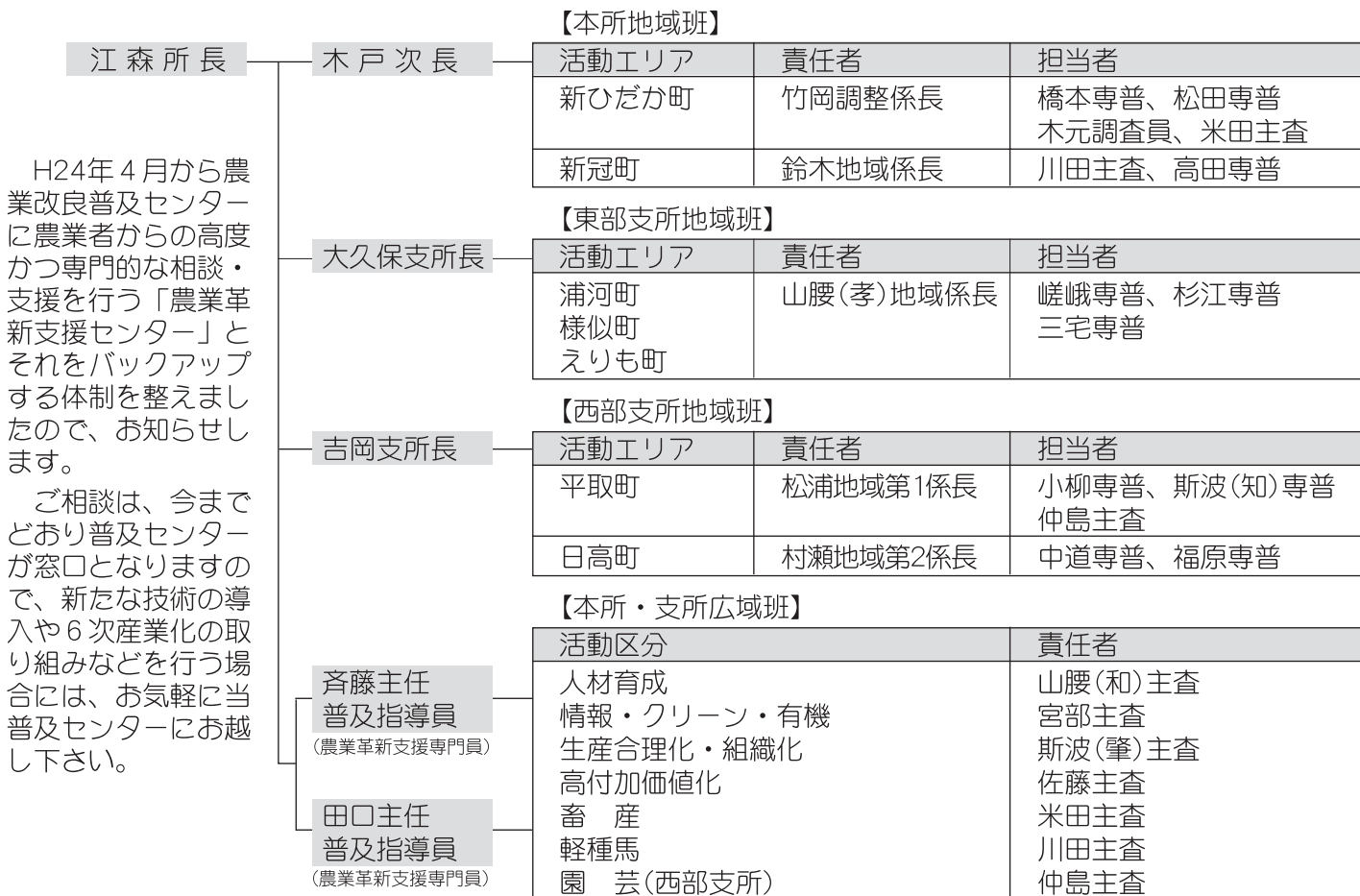
2012年4月

日高農業改良普及センター

## 日高農業の生産構造改革を進め、地域活性化を図ります!

- 普及センターは日高農業の抱える高齢化・担い手不足や生産構造の改革を図るため、「食」「環境」「人」「地域」の4つの視点に立った普及活動を行っていきます。関係機関・団体（町、JA、試験研究機関、振興局など）と連携を強化して、地域課題の重点化や生産から販売までの経営経済的評価を取り入れた活動や新技術の導入促進を図ります。また、引き続き、地域農業の維持・活性化を支援するため広域活動を強化していきます。
- 4つの視点（キーワード）
  - 1 消費者に信頼される安全・安心な「食料」と農業の持続的な発展に向けた取組み
  - 2 「環境」と調和した農業生産に向けた取組み
  - 3 多様な「担い手」の育成・確保と農業経営の体質強化
  - 4 豊かな資源と創意工夫を活かした「地域」づくり

### 平成24年度 日高農業改良普及センター活動体制



# 参考にしよう！ 地域の活動事例

～詳細は日高農業改良普及センターホームページで紹介しています～

アドレス <http://www.hidaka.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/index.htm>

## トマト褐色根腐病の発病軽減対策～定植直前のフスマ施用に効果 【平取町】

道内のトマト主要産地で褐色根腐病の発生が目立ってきていると言われていています。この病害は発生生態に不明な点が多い難防除土壌病害です。発病によって茎葉がしおれたり果実が小玉化するため収量・品質は低下しますが、軽微な場合は被害に気づかないことも多いようです。

この対策として、平取町では土壌還元消毒の普及が進んでいますが、被害を再発させない、また拡大を防ぐ対策として、中央農業試験場の協力を得て「定植直前のフスマ施用」の効果が確認されました。

さらに現地での検証を重ね、病害を回避する有効な技術として普及することが期待されます。



フスマを施用した定植前のハウス

### <フスマ施用手順>

- ①収穫終了時の根の発病程度を確認し、250～500kg/10aのフスマを準備する。
- ②定植床成形時にフスマを施用混和し、通常作業と同様にベツをつくる。

### <注意事項>

- ①還元消毒実施直後の栽培には不可
- ②地温が上昇する6月以降の処理は避ける
- ③定植前10～30日以内にフスマを混和する



試験場の講師を招いてセミナーの開催

## ミニトマトの高温対策で収量を回復 【新ひだか町】

平成22年は夏季の猛暑により、収量が前年比85%までに落ち込みました。例年、夏季は比較的冷涼に経過する日高管内では、高温対策が十分講じられるハウスが少ないため、高温遭遇による「落花」「カスミソウ状花による小玉化」「着色不良」「ガク枯れ」など収量・品質を低下させる症状が多発しました。

今後の気象をかんがみて、平成23年には7戸の部会員が4種類の高温対策に取り組み、各産地が高温に悩まされた夏季に順調な出荷ができました。

継続安定出荷に応えることができる産地として、日高においても夏場の高温に対する準備は、今後不可欠と言えるでしょう。



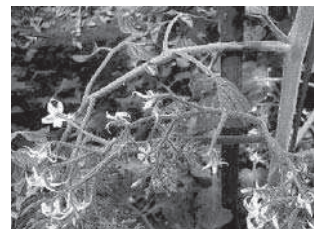
【対策1】  
ハウス天井ビニールへの石灰塗布



【対策2】妻部換気



高温によるガク枯れ症状



小玉になる  
カスミソウ状花

## 若い酪農家4戸でTMRセンターを設立 共同の力で酪農経営の安定を実現

【日高町】

日高町賀張地区の酪農家4戸で設立したTMRセンター「(有)賀張ドリームフィード」は7年目を迎えました。

従来各自で行っていたラップサイレージから共同のバンカーサイレージ調製に変えることで、作業効率が向上し、牧草の栄養価が高い時期に収穫作業ができるようになりました。

また粗飼料と配合飼料を混合したTMR給与により給餌作業も簡略化され、乳牛の適正な栄養管理も実現しています。

共同でつくる高品質サイレージ給与で乳量も増加し、TMRセンターの安定運営につながっています。



バンカーサイレージの調整作業

## 地域の課題を解決するプロジェクト活動に評価 4Hクラブが「(社)全国農村青少年教育振興会長賞」を受賞

【新冠町】

新冠4Hクラブは、昭和26年設立以来、半世紀を超える活動を展開してきました。現在の会員は新規学卒者や酪農ヘルパー職員などで構成され、20代を中心に11名で活動しています。

平成15年以降に取り組んできたプロジェクト活動が評価され、平成22年度に名誉ある賞を受賞しました。

＜プロジェクト活動の概要と取組年次＞

平成15年度	ピーマン栽培技術改善プロジェクトをスタート
平成16年度	園芸作物・酪農部門と2課題でプロジェクトに取り組む
平成17年度	ピーマンプロジェクトが北海道青年農業者会議作物部門で最優秀賞受賞
平成18年度	「草地維新」プロジェクト
平成19年度	「草地維新」プロジェクトパート2
平成20年度	草地プロジェクトの取り組みが地域に波及し、炭カル施設が増加
平成21年度	乳牛管理改善プロジェクト 優秀農業青年クラブ表彰受賞
平成22年度	(社)農村青少年教育振興会長賞を受賞 地域交流プロジェクト開始



全国表彰を受ける4Hクラブ会長

## 草地コガネムシ被害の再発防止対策

【えりも町】

えりも町では平成18年以降、多い年では300ha以上の牧草地に被害をもたらしたコガネムシの対策に関係機関が連携して取り組んできました。

過去の取組みでは幼虫防除に有効な資材が確認できず、平成22年から23年はトラップによる成虫捕殺で、草地への産卵を防ぐ対策を試行しました。

このことから成虫発生ピークが7月下旬から8月上旬であることがわかり、ピーク前にトラップを設置できた平成23年では、7月から8月の2ヶ月間に1トラップ当たり1日500頭以上の成虫を捕殺することが確認できました。



関係機関でトラップの設置

## 農・商・工 人のネットワークで地域の「宝」を発見、育もう！ 地場農産物加工・販売の取り組み 【日高町・新冠町・新ひだか町・浦河町】

後継者不在の和菓子職人の技術伝承をきっかけに、日高管内の農業者、農家民宿、農産物直売所、商工業者や福祉施設などが町の枠を超えて協力し合い、地場農産物を素材にしたようかんの開発販売を後押ししました。

また、この取組みで知り合った人たちで交流会を開催し、地場の農畜産物を堪能し地元の良さを再発見しながら、地域を元気にする話題で歓談しました。

次々とアイデアが飛び出す不定形の活動は、今後も目が離せません。



地産地消を志す農商工業者による交流会

## 職員の異動がありました

平成24年4月1日付け

### よろしくお祈いします

【本所】		前任地
主任普及指導員	田口 章一	農政部技術普及課
調整係長	竹岡 裕之	宗谷農業改良普及センター 本所
主査(人材育成)	山腰 和枝	十勝農業改良普及センター 本所
主査(軽種馬)	川田 恒	十勝農業改良普及センター 東部支所
専門普及指導員	高田 伸子	渡島農業改良普及センター 本所
【西部支所】		
地域第一係長	松浦 準	上川農業改良普及センター 名寄支所
専門普及指導員	中道 真仁	釧路農業改良普及センター 東部支所
【東部支所】		
支所長	大久保義幸	網走農業改良普及センター 紋別支所興部分室

### お世話になりました

【本所】		転出先
主任普及指導員	土田 優	胆振農業改良普及センター 本所 調査員
調整係長	松本 勇	農政部技術普及課技術普及室 中央農試駐在 主任普及指導員
主査(人材育成)	田所由理恵	檜山農業改良普及センター 本所 主査(情報グリーン有機)
主査(軽種馬)	田淵 修	石狩農業改良普及センター 江別分室 地域第二係長
専門普及指導員	高木 啓詔	釧路農業改良普及センター 本所 地域係長
【西部支所】		
地域第一係長	菊地 隆	空知農業改良普及センター 中空知支所 地域第三係長
専門普及指導員	太田 成俊	空知農業改良普及センター 本所 主査(畜産)
【東部支所】		
支所長	竹内 稔	上川農業試験場技術普及室 上席普及指導員

日高農業改良普及センター本所 TEL 0146-42-1489 FAX 0146-42-2521  
〒056-0005 日高郡新ひだか町静内こうせい町2丁目2番10号

日高農業改良普及センター日高東部支所 TEL 0146-22-9347 FAX 0146-22-2559  
〒057-8558 浦河郡浦河町栄丘東通56号 日高振興局内

日高農業改良普及センター日高西部支所 TEL 01457-2-2055 FAX 01457-2-2918  
〒055-0107 沙流郡平取町本町105-6

日高農業改良普及センターホームページアドレス <http://www.hidaka.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/index.htm>